



SYOWA 2010

2010.10.25

東京農工大学 客員教授 福井隆

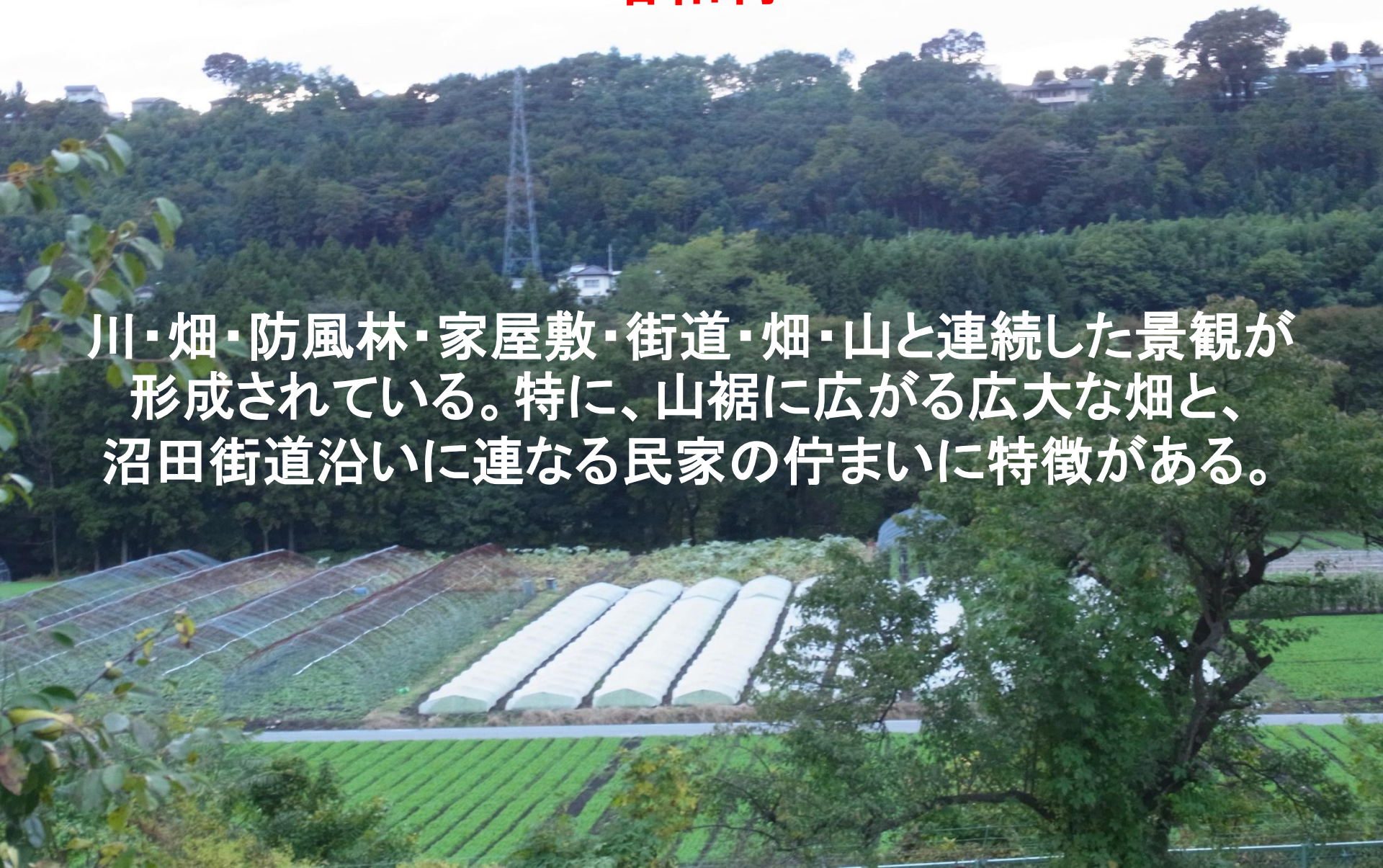
日本で一番美しい村をみる
昭和村の個性はなんだろう？


地域の個性を生かすことが、未来への希望をつくる



片品川・利根川流域の河岸段丘の上に発達した 昭和村

川・畑・防風林・家屋敷・街道・畑・山と連続した景観が形成されている。特に、山裾に広がる広大な畑と、沼田街道沿いに連なる民家の佇まいに特徴がある。



A close-up, top-down view of a vast field of bright yellow chrysanthemum flowers. The flowers are densely packed, filling the entire frame. Each flower has multiple layers of petals radiating from a central yellow core. The background is a dark, almost black color, which makes the vibrant yellow of the flowers stand out sharply. The lighting is even, highlighting the texture of the petals.

家屋敷のまわり、そこかしこに
花がある！

花は、観賞用だけではなく、仏に供える花が多くある。





花があることで、家屋敷の佇まいが独特の風景をつくる





家屋敷のまわりの特徴として、背の高い垣根がある！



背の高い垣根、すごい景観を街道沿いに形成した

家屋敷の入り口が劇場となっている



良く手の入った樹木
＝垣根がつくる風景



そして、立派な蔵と植物



家紋と蔵と植物の風景



蔵の造作と植物の組み合わせ



多様な葺と植物の組み合わせ
が昭和村の街道風景



柿の木も一つの佇まいをつくる



良く手の入った樹木と家屋敷がつくる風景



良く手の入った樹木と家屋敷がつくる風景

桜



良く手の入った樹木と家屋敷がつくる風景



時間の積み重ねがつくる風景でもある



円熟したエージングの風景が個性である



そして、暮らしのある風景が人々を魅了する



家屋敷・時間の積み重ね・人・樹木・花・庭先野菜・複合風景



暖かい人々がつくる風景でもある



営みの風景がある昭和村



営みの風景の一つ
養蚕の蚕室で唐辛子を干す。
これまで、こんにゃく芋を貯蔵した。



街道沿いの家屋敷に加え、樹木が 佇まいをつくる





つつじも背が高い！



農家の裏庭も美しい

赤城山麓の生産風景も独特の風景をつくる

赤城山・防風林・生産圃場・水・ハウス栽培



生産の風景が広がる豊かさの象徴



山麓から、河岸段丘まで、営みの宇宙が昭和村





諏訪宮
天狗宮

歴史の始まりは、鉾脈さがし？その後、河岸段丘に住みつき、
街道が形成され、養蚕で栄え、農業で暮らしをつくり今に至る

昭和村7,697名、そのうち
3,366名が50歳以下、
4,331名が50歳以上

昭和村・越生集落
232名のうち、98名
が50歳以下！42%



かつて繁華が並び栄えた薬橋町。静まりかえった旧日光街道に夜が明ける。(埼玉県栗橋町) 写真 小林健

美しい風景は、営みの中で、そこに住む人が作るうとして始めてできる。

三遊亭朝 牡丹燈籠 埼玉・栗橋

戦後「均衡ある発展」で豊かさを獲得した日本は、逆に地域の個性を失くしていった。



1986年 「なんじゃ、こりゃあ」

ゆ
ず
の
村
ぽ
ん
酢
し
ょ
う
ゆ



村
を
売
る
？

便利な町になりたかった馬路村が「村を売る」

常勤職員100名 売り上げ33億円

- 「ぽん酢しょうゆ ゆずの村」



村が個性の
時代があった

「村を売った」

馬路村には、
希望が生まれた。

人口は**1100人弱**と
相当少ないが
イターン者**15人**
顧客**35万人**
視察は年間200~
300団体
観光客数**60,000人!**

主体は
JA

高知県
馬路村



村の遊びを教えちやる



そむいじ、
そむいじ

例えば、阿蘇門前商店街

5年前、風前の灯であった商店街



湧水・阿蘇神社門前商店街の考え方

水とのつながりを生かし、
木を植え、商店街を再生！
風前の灯から、十五万人

水基巡りの道

阿蘇神社

門前町会

水基巡りの道

水基巡りの道

水基巡りの道

水基巡りの道

水基巡りの道

水基巡りの道

水基巡りの道



水のおもてなし

個性を生かして、売上八倍





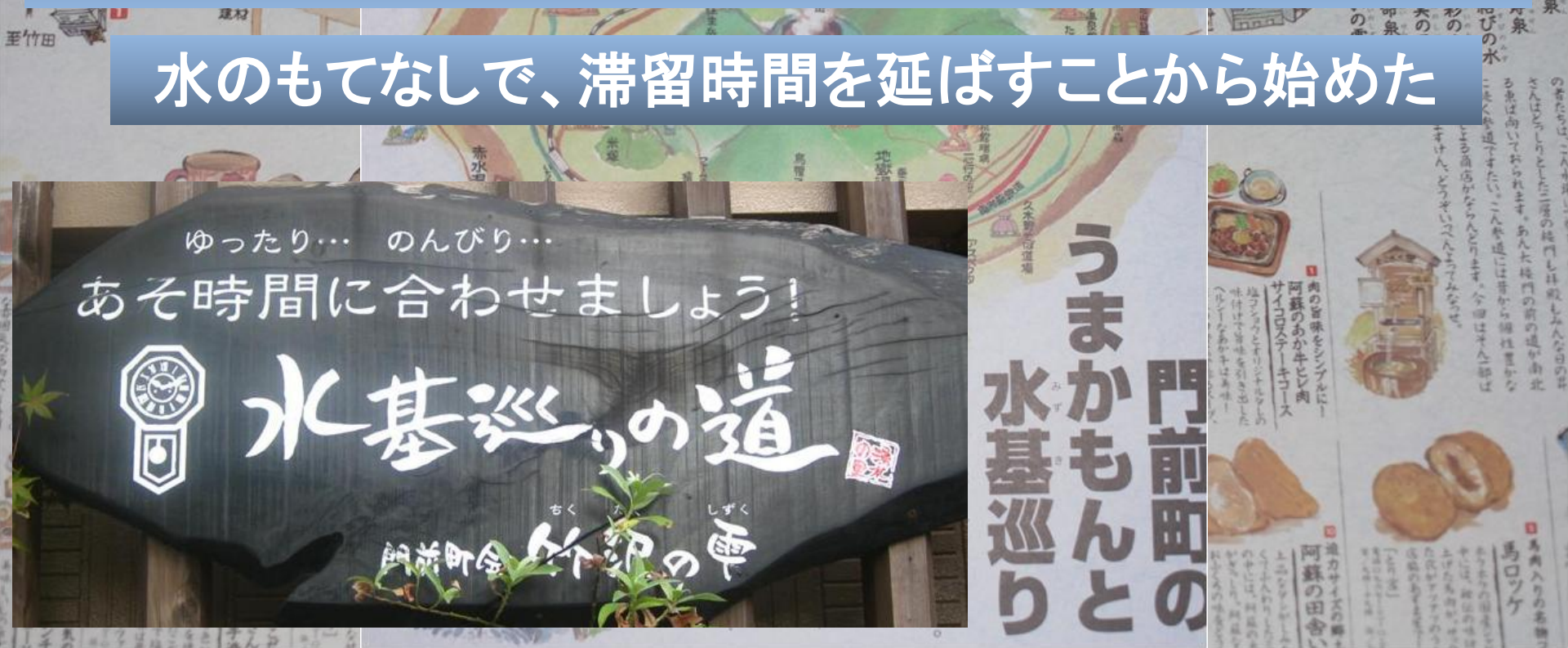
阿蘇の個性は水にあった。

水とともにある暮らしの特徴を「生かす」



1,000万人の観光客を商店街へ！

水のもてなしで、滞留時間を延ばすことから始めた



200m道路に畳218枚！自由にお花見！



馬ロツケなど名物も誕生

**昭和村、歴史・営み、本質を読み個性を
生かすことが価値を高める**



地域ブランド

約 6 百万人の観光客



美瑛の風景が美瑛
の農産物の価値を
高めた

美しい風景が物産に価値
を付加し「美しいむら」

地域の個性を生かすと、農物の価値が上がる



昭和村、「ブランド」として価値をつくろう

蔵・養蚕の家・街道・神社・寺・樹木・花・生産圃場
そのすべてが昭和村の個性をつくった

